

木造公共施設整備事業費補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 知事は、県産材の利用を促進するため、木造公共施設整備事業に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付するものとする。その補助金の交付に関しては、山梨県補助金等交付規則（昭和38年山梨県規則第25号、以下「規則」という。）に規定するもののほか、この要綱の定めるところによる。

(補助事業等)

第2条 この要綱で対象とする事業は、次世代林業基盤づくり交付金実施要綱(平成25年5月16日付け25林政経第105号)に基づいて実施する事業とし、補助金の交付の対象となる事業（以下「補助事業」という。）及び補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）及び補助金の交付の対象となる事業者（以下「補助事業者」という。）は、別表1に掲げるとおりとする。

(補助率)

第3条 知事は、補助対象経費に別表2に掲げる補助率を乗じた額を助成額の上限とし、予算の範囲内で補助するものとする。

(補助金交付の申請)

第4条 補助事業者は、補助金の交付を受けようとするときは補助金交付申請書（第1号様式）に事業計画書を添付して、別に定める日までに知事に提出すること。

(交付の条件)

第5条 この交付金には、次の(1)から(4)までの条件を付すものとする。

- (1) 補助事業者は、補助事業に要する経費の配分又は補助事業の内容の変更(別表1に定める重要な変更)及び補助事業を中止又は廃止をしようとする場合には、変更(中止、廃止)承認申請書(第2号様式)により知事の承認を受けなければならない。
- (2) 補助事業が予定期間内に完了する見込みがない場合又は補助事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに知事に報告しその指示を受けなければならない。
- (3) 補助事業者は、事業完了後に、消費税及び地方消費税の申告により交付金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額が確定した場合は、第9号様式により速やかに知事に報告しなければならない。なお、知事は、当該消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額の全部又は一部を補助事業者に納付させることができる。
- (4) 補助事業者が(1)から(3)までの条件に違反した場合、知事はこの補助金の全部又は一部の返還を補助事業者に対して求めることができる。

(状況報告)

第 6 条 補助事業者は、事業に着手したときは、速やかに、知事に事業着手報告書（第 3 号様式）を提出しなければならない。

2 補助事業者は、補助金の交付決定のあった日から事業が完了する日までの間、各月の末日における事業の進捗状況を遂行状況報告書（第 4 号様式）により、知事に提出しなければならない。

(実績報告)

第 7 条 補助事業者は、補助事業が完了した日若しくは廃止の承認を受けた日から起算して 1 箇月を経過した日、又は補助事業の完了の日の属する会計年度の翌年度の 4 月 10 日のいずれか早い期日までに、木材使用量に係る使用証明書（第 5 号様式）及び山梨県産材認証センターが交付する県産材管理票（県産材納入証明書）の写し又は山梨県産材認証センターが発行する県産材証明書を添付し、実績報告書（第 6 号様式）を知事に提出すること。

(補助金の交付)

第 8 条 知事は、補助金を補助事業完了後に交付するものとする。ただし、補助事業者の申請により知事が必要と認めるときは、概算払いをすることができる。

2 前項に定める概算払いを受けようとするときは、補助金概算払請求書（第 7 号様式）を知事に提出すること。

(財産の処分の制限)

第 9 条 補助事業者は、補助事業により取得し、又は効用の増加した財産（機械及び器具については、取得価格又は効用の増加価格が 50 万円以上のもの）について、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和 40 年大蔵省令第 15 号。以下「大蔵省令」という。）に定められている財産については、大蔵省令に定められている耐用年数に相当する期間、ただし大蔵省令に定めのない財産については、知事が別表 3 に定める期間（以下これらの期間を「処分制限期間」という。）内においては、知事の承認を受けないで、補助金交付の目的に反して、使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、又は担保に供してはならない。

また、処分制限期間内に知事の承認を得て当該財産を処分したことにより収入のあったときは、当該収入の全部又は一部を県に納付させることがある。

ただし、補助事業を行うに当たって、補助対象物件を担保に供し、自己資金の全部又は一部を国が行っている制度融資から融資を受ける場合であって、知事の承認を受けたものはこの限りでない。

2 補助事業者は、前項の承認を受けようとする場合は木造公共施設整備事業費補助金財産処分承認申請書（第 8 号様式）を知事に提出し、その承認を受けなければならない。

3 知事は、第 1 項の承認をしようとする場合において、原則として交付した補

助金のうち取得財産等を補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、又は担保に供した時から財産処分制限期間が経過するまでの期間に相当する分を返還させるものとする。

(検査)

第 1 0 条 知事は、必要があると認めるときは職員をして実施に検査を行うことができる。

(書類の保存)

第 1 1 条 補助事業者は、事業に係る関係書類について、事業等に係る予算及び決算との関係を明らかにした調書を作成するとともに、事業に係る歳入及び歳出について証拠書類を整理し、かつ調書及び証拠書類を事業の完了の日（事業の廃止の指示を受けた場合には、その指示を受けた日）の属する年度の翌年度から起算して 5 年間、整備保管しておかなければならない。

(その他)

第 1 2 条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める木造公共施設整備事業実施要領によるものとする。

附 則

この要綱は平成 1 5 年 7 月 1 1 日から施行する。
この要綱は平成 1 7 年 5 月 2 0 日から施行する。
この要綱は平成 1 8 年 4 月 1 日から施行する。
この要綱は平成 2 1 年 3 月 4 日から施行する。
この要綱は平成 2 6 年 7 月 1 日から施行する。
この要綱は平成 2 8 年 4 月 1 日から施行する。

別表 1

事業種目	補助対象経費	補助事業者	重要な変更
1 木造 公共施設 整備	1 木造公共施設、木質 内装、木製外構施設、 附帯施設の整備に要す る経費。	市町村、地方公共団体が出資 する法人、特別区、地方公共 団体の組合、公共建築物にお ける木材の利用の促進に関 する法律施行令（平成 22 年 政令第 203 号）第 1 条に掲げ る施設の整備主体	補助対象経費の増 又は 20% を超え る減
2 都市 木造公 共施設 整備	2 木造公共施設の整備 に要する経費。		

別表 2

事業種目	補助率
1 木造 公共施設 整備	1 定額（2分の1以内） ただし、特にモデル性が高いものとして知事が認める施設を除き、木造 公共施設、木製外構施設等については定額（15%以内）、木質内装につ いては定額（3.75%以内）
2 都市 木造公 共施設 整備	2 定額（10分の3以内）

別表 3

施設名	転用制限基準	補助金の返還範囲
駐車場 （附帯道路を 含む）	補助金交付年度の翌年度から起算して8年 以内に施設の全部又は一部が目的以外に転用 され残存施設では初期の目的を達成すること が困難となったとき。	全部又は一部

第 1 号様式

番 年 月 号 日

山梨県知事 殿

(申請者)
名 称
代表者氏名

印

木造公共施設整備事業費補助金交付申請書

年度において、木造公共施設整備事業を次のとおり実施したいので、木造公共施設整備事業費補助金交付要綱第 4 条の規定により補助金の交付を申請します。

- 1 県補助金の額
- 2 事業の目的

3 事業の内容

(1) 事業の内容

施設の名称	
建設場所	
事業量(建築面積)	
事業量(延床面積)	
構造	
着工(予定)年月日	
完成(予定)年月日	

(2) 木材使用内容

部 材 名	樹 種	材 積	備 考
		m3	
合 計		m3	

備考欄に県産材、県外産材、外材の別を記入する。

4 事業完了（予定）年月日

5 収支予算（精算）

（1）収 入

経費の区分	予 算（ 精 算 ） 額			計
	県補助金	市町村費	そ の 他	
計				

（2）支 出

経費の区分	予算（精算）額	積 算 基 礎	備 考
計			

6 添付書類

- （1）補助金交付申請書には事業計画書を添付すること。
- （2）補助金実績報告書には請負契約書の写し、検査調書の写し、完成写真、精算設計書、精算図面を添付すること。
- （3）その他知事が必要と認める書類を添付すること。

第2号様式

番 号
年 月 日

山梨県知事 殿

(申請者)
名 称
代表者氏名

印

木造公共施設整備事業変更(中止・廃止)承認申請書

年 月 日付け 第 号で交付決定のあった木造公共施設整備事業について、次のとおり変更(中止・廃止)したいので、同事業費補助金交付要綱第5条の規定により申請します。

変更の場合

1 変更の理由

2 変更の内容(第1号様式 3~5 による)

(注)上段に変更前の事項を()書きし、下段に変更しようとする事項を記載すること。

その他、知事が必要と認める書類を添付すること。

中止(廃止)の場合

1 中止(廃止)の理由

第3号様式

番 号
年 月 日

山梨県知事 殿

(申請者)
名 称
代表者氏名

印

木造公共施設整備事業着手報告書

年度木造公共施設整備事業を実施するにあたり、次のとおり着手したので報告します。

施設名 事業量（建築面積） 事業量（延床面積） 事業費 県補助金 請負金額	
工 期 請 負 者 建設場所 そ の 他	契 約 年 月 日 着 手 年 月 日 完成（予定） 年 月 日

契約書、工事工程表、設計書、設計図面等関係書類を添付する。

第4号様式

番 号
年 月 日

山梨県知事 殿

(申請者)
名 称
代表者氏名

印

木造公共施設整備事業遂行状況報告書

年度木造公共施設整備事業の 年 月 日現在の遂行状況は、次のとおりです。

1 補助金交付状況

施設名	県補助金 交付決定額	県補助金受領額		備考
		月 日	金 額	

2 事業遂行状況

施設名	計画事業費(a)	出来高事業費(b)	進捗率(b/a)	備考

使用証明書

部 材 名	樹 種	材 積	備 考
		m3	
合 計			

備考欄に県産材、県外産材、外材の別を記入する。

上記のとおり使用しました。

年 月 日

(申請者)
名 称
代表者氏名 殿

請負者 住 所
名 称
代表者氏名

印

第 6 号様式

番 号
年 月 日

山梨県知事 殿

(申請者)
名 称
代表者氏名

印

木造公共施設整備事業費補助金実績報告書

年 月 日付け 第 号で補助金交付決定の通知のあった木造公共施設整備事業を次のとおり実施したので、木造公共施設整備事業費補助金交付要綱第 7 条の規定によりその実績を報告します。

(以下第 1 号様式に準ずる。)

第7号様式

番 号
平成 年 月 日

山梨県知事 殿

(申請者)
名 称
代表者氏名

印

木造公共施設整備事業費補助金概算払請求書

年 月 日付け 第 号で補助金交付決定のあった木造公共施設整備事業補助金について、木造公共施設整備事業費補助金交付要綱第8条第2項の規定により次のとおり概算払の請求をします。

1 概算払請求額

2 内 訳

補助金交付決定額	既概算交付額	差引額 - =	今回概算請求額	備 考

3 概算払請求の理由

4 支払の方法

口座振替

振替先銀行名

預金種別・口座番号

口座名義

(注) 「出来高調書」を添付する。

第 8 号様式

番 年 月 日 号

山梨県知事 殿

(申請者)
名 称
代表者氏名

印

木造公共施設整備事業費補助金財産処分承認申請書

年度木造公共施設整備事業費補助金に係る補助事業により取得した財産を、次のとおり処分したいので、木造公共施設整備事業費補助金交付要綱第 9 条第 2 項に基づき、申請します。

- 1 処分しようとする財産の明細
- 2 処分の内容
- 3 処分しようとする理由
- 4 その他必要な書類

番 号
平成 年 月 日

山梨県知事 殿

所 在 地
団 体 名
氏 名 印

消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額報告書

平成 年 月 日付け 番 号で額の確定を受けた木造公共施設整備事業費補助金について、次のとおり報告します。

1 事業実績額
金 円

2 申告により確定した消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額
金 円

3 添付書類

- (1) 消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額算出書
- (2) 消費税及び地方消費税確定申告書の写し
- (3) その他参考となる書類